

学校だより



# 紫竹山

225号

新潟市立  
紫竹山小学校  
児童数 418名

## 学力検査の結果と今後の取組 「全国学力・学習状況調査」「標準学力検査（CRT）」

校長 風間 弘子

初秋の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から当校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。

4月に、6年生児童を対象に行われました「全国学力・学習状況調査」と、2年生以上を対象に実施した「標準学力検査（CRT）」の結果と、今後の取組についてお知らせいたします。

### 【全国学力・学習状況調査】

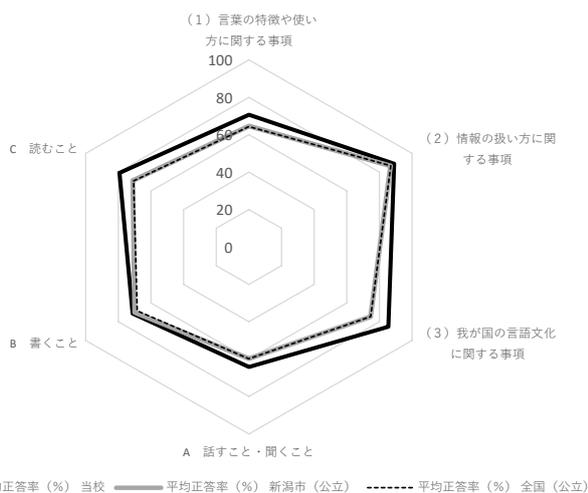
#### 1 学力検査結果

国語と算数の正答に関わる平均は、下表の通りでした。国語・算数共に全国平均を上回る結果となりました。

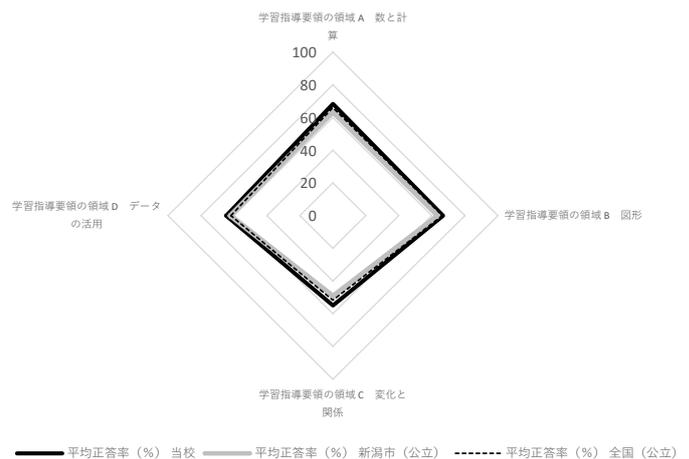
国語	平均正答数	平均正答率 (%)	全国比 (%)
当校	10.3/14	74.0	109.3
新潟県	9.4/14	67.0	99.0
新潟市	9.5/14	68.1	100.6
全国	9.5/14	67.7	

算数	平均正答数	平均正答率 (%)	全国比 (%)
当校	10.4/16	65.0	102.5
新潟県	9.8/16	61.0	96.2
新潟市	9.8/16	61.4	96.8
全国	10.1/16	63.4	

学習指導要領の内容【国語】



学習指導要領の内容【算数】

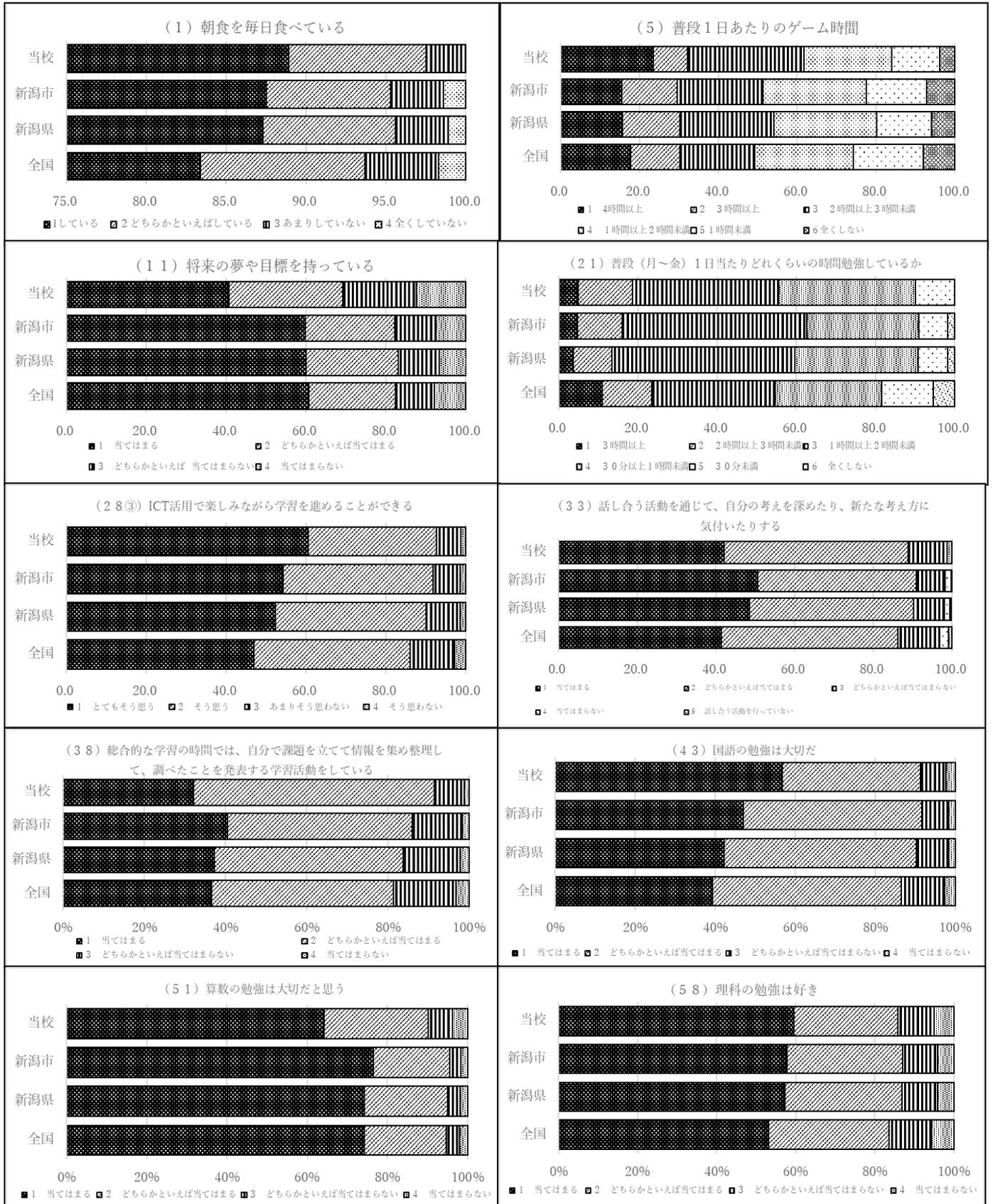


漢字の一部を除く全ての設問において、全国の前平均正答率を上回りました。「読むこと」や「我が国の言語文化に関する事項」では、全国平均を大きく上回る結果となりました。「読むこと」では、物語の人物像の理解や、行動の理由などを、叙述に即して読み取る力があります。「我が国の言語文化に関する事項」は、読書活動の記録を基に考察する力が高いことが分かりました。

全ての領域において、全国の前平均正答率を上回りました。「数と計算」で出題された基礎計算がしっかり定着できていることが分かりました。図形の理解、グラフの読み取りもしっかり身に付いていると言えます。データの結果を読み取り、予測したことを記述するというような問題で、理由を挙げて説明する力を高めていきたいと考えます。

## 2 学習状況調査

60以上の質問項目から、いくつかを下に示します。



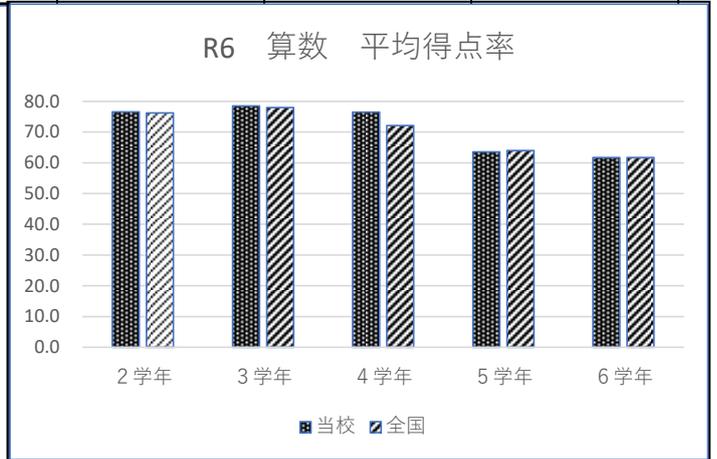
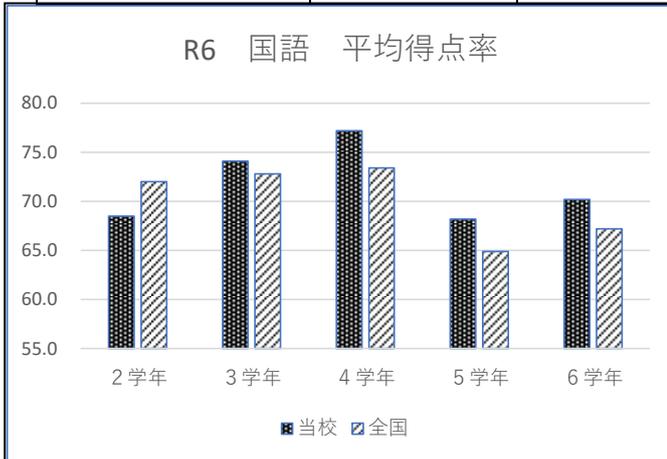
朝食を毎日食べる、ゲーム時間が長いといった傾向が見られました。また、将来に向けた目標をもっている子の割合が低いことも分かりました。6学年では、これから総合的な学習の時間に「キャリア教育」に取り組みます。大人との触れ合いや仕事にける思いなどをお聞きすることで、意識の高揚を目指します。

【標準学力検査（CRT）】

国語と算数の標準スコアは下表の通りでした。「標準スコア」とは、全国の正答率を50としたときの換算値です。50を超えていれば、相対的に良好であることを示しています。

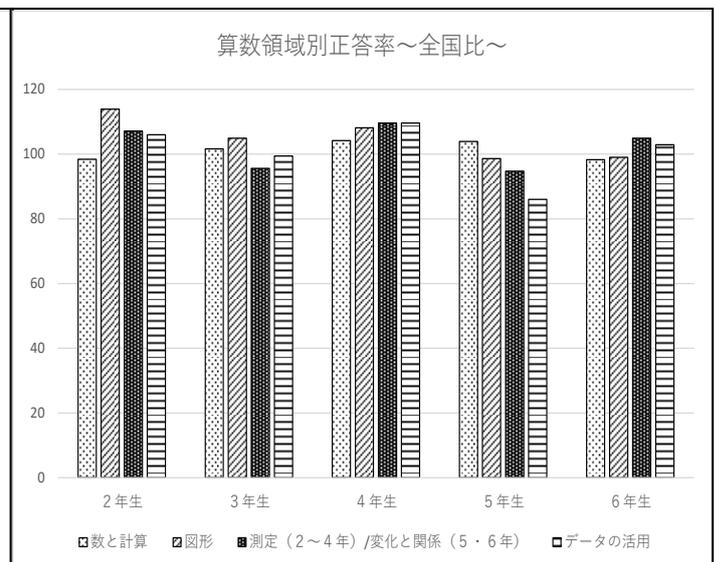
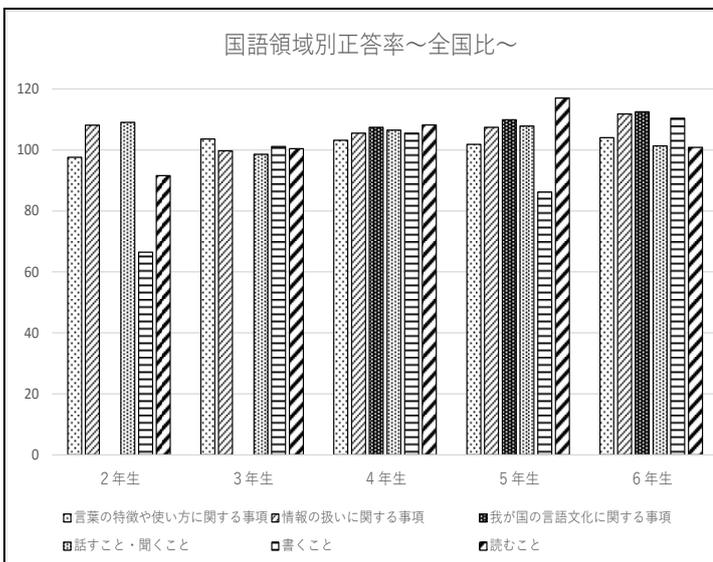
～標準スコア～

	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年
国語標準スコア	48.0	50.6	51.8	51.5	51.5
算数標準スコア	50.3	50.3	52.1	49.8	50.0



～各教科の領域別正答率の全国比～

教科	領域	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生
国語	言葉の特徴や使い方に関する事項	97.6	103.6	103.2	101.8	104.0
	情報の扱いに関する事項	108.1	99.7	105.5	107.4	111.8
	我が国の言語文化に関する事項			107.4	109.9	112.5
	話すこと・聞くこと	109.0	98.6	106.5	107.8	101.3
	書くこと	66.5	101.1	105.5	86.2	110.4
	読むこと	91.6	100.4	108.2	117.0	100.8
算数	数と計算	98.4	101.6	104.2	103.9	98.3
	図形	113.9	104.9	108.1	98.6	99.0
	測定（2～4年）/変化と関係（5・6年）	107.1	95.6	109.6	94.7	104.9
	データの活用	106.0	99.4	109.6	86.0	102.9



学校全体として見ると良好な傾向ですが、学年や項目で細かく見ると改善が必要なところも見られました。学年ごとの傾向や改善策について下に記します。

		国 語	算 数
2 年 生	傾向	○物語の人物の気持ちや場面の様子などを、叙述を基に捉えて答える問題に弱さが見られました。 ○経験したことから書きたい内容を選んで、自分の思いが明確になるように記述する問題に弱さが見られました。	○繰り下がりのあるひき算の考え方を説明することに弱さが見られました。 ○問題場面を図に表したり、「前からいくつ」「前からいくつ目」を区別してとらえる問題に弱さが見られました。
	改善点	・国語の授業だけにとどまらず、話題を選んで条件に合わせて書く活動に力を入れます。書くことに慣れ親しんでいけるようにします。	・式を立てたり答えを出したりする場面で、考え方を図で表したり、言語化したりすることに力を入れます。
3 年 生	傾向	○話し手が伝えたいことを、落とさずに聞き取る問題に弱さが見られました。 ○語や文とのつながりに気を付けて文章を書く問題に弱さが見られました。	○身近にあるものの「かさ」を適切な単位を用いて表す問題に弱さが見られました。 ○直方体など立体を構成する要素の理解に弱さが見られました。
	改善点	・国語の授業だけにとどまらず、社会科や総合的な学習で人から話を聞く場面で、聞き方指導や聞き取ったことの交流を取り入れます。 ・書く活動を位置付け、つながりに気を付けながら書くことに慣れさせていきます。	・学んだことを生活場面につないだり、量感を育てるために手に触れたり、操作したりする活動も取り入れます。
4 年 生	傾向	○説明文の段落の内容をとらえる問題に弱さが見られました。 ○書く内容の中心を明らかにして文章を構成する問題に弱さが見られました。	○分数を数直線上に位置付ける問題で弱さが見られました。 ○かけ算の筆算の中にある数値の理解に弱さが見られました。
	改善点	・文章の中で繰り返し出てくる語に着目させて要約するなどの活動を大事にします。 ・国語や他教科で、「伝えたいこと」の中心は何かを意識して書く活動に取り組みます。	・計算を正しく処理することだけでなく、筆算内の数の意味を確認するようにします。 ・分数・小数・整数を関連させて、大小判断ができるようにします。
5 年 生	傾向	○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして文章を書く問題に弱さが見られました。 ○段落の役割理解に弱さが見られました。	○3けた÷2けたのわり算に弱さが見られました。 ○表から読み取ったことを基に考えられることを記述する問題に弱さが見られました。
	改善点	・国語の授業にとどまらず、書く活動を取り入れます。「段落を作って書く」「事実と事例」を区別して書くなど、条件を提示しながら書くことに慣れ親しめるようにします。	・計算、作図などの基礎基本は継続的に練習場面を設けます。 ・表やグラフでは「何が分かるのか」「そこからどういったことが考えられるのか」を言語化させていきます。
6 年 生	傾向	○文中にある誤った漢字を、正しく書き直す問題に弱さが見られました。 ○意見と理由を明確にして、指定された長さで記述する問題に弱さが見られました。	○問題場面に合った式を選択する問題に弱さが見られました。 ○「速さ」の理解を基に、「時速」を「分速」に変換したりする問題に弱さが見られました。
	改善点	・事実や分かったことと自分の考えとをつないで文章に表していけるよう、他の教科と関連させて取り組みます。 ・漢字練習や語彙指導に継続して取り組みます。	・問題場面の解釈を言葉で交流したり、図や式の意味を説明し合ったりしていきます。 ・「速さ」や「割合」などの意味についても取り上げ、正しく理解できるようにします。

紫竹山小学校の傾向として、国語では「書くこと」、「感想などを共有すること」といった内容で、算数では「式の意味」「解法の説明」などの内容で、定着の低い問題がありました。これらの問題について、各学年の実態に応じて、今後の指導で重点的に取り組みます。各ご家庭におかれましても、お子さんの様子に合わせて、基礎基本の定着が図られるよう、称賛・ご指導をお願いします。